

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公表番号】特表 2021-505043 (P2021-505043A)

【公表日】令和 3 年 2 月 15 日 (2021.2.15)

【年通号数】公開・登録公報 2021-007

【出願番号】特願 2020-528875 (P2020-528875)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/02 (2009.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 3

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/02

H 0 4 L 27/26 1 1 4

H 0 4 L 27/26 1 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 27 日 (2021.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ機器 (UE) によって実施されるワイヤレス通信の方法であって、
 キャリアのための初期絶対周波数、
 前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
 前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
 基準周波数からの周波数オフセット、
 のうちの少なくとも 1 つを識別するキャリア情報を受信することと、
 前記キャリア情報と前記 UE のサブキャリア間隔とのみを使用して、前記キャリアの構成を決定することと、ここにおいて、前記構成を決定することは、物理チャネル、トーン境界オフセット、チャネル開始、および / またはチャネル終了を決定することを備える、
 を備える、方法。

【請求項 2】

前記基準周波数は、前記キャリアのエッジから特定の距離を置いたところに位置し、前記特定の距離は、前記 UE の最大のサポートされるチャネル帯域幅よりも広い、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記基準周波数に少なくとも部分的に基づいて、
 前記キャリアのための擬似雑音シーケンス、
 前記キャリアのためのリソースブロックグループ、
 前記キャリアのためのプリコーディングリソースブロックグラニュラリティ、または、
 前記キャリアのためのサウンディング基準信号のロケーション、
 のうちの少なくとも 1 つを決定すること、
 をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記キャリア情報に少なくとも部分的に基づいて、および帯域幅部分の開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の終了リソースブロックのうちの少なくとも1つを識別する情報に少なくとも部分的に基づいて、前記帯域幅部分を決定すること、
をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、前記物理チャンネルに対して定義される、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、前記基準周波数に対して定義される、請求項4に記載の方法。

【請求項 7】

前記キャリアはダウンリンクキャリアであり、前記キャリア情報はダウンリンクキャリア情報であり、

前記UEが周波数分割複信に関連付けられるとき、前記方法は、

アップリンクキャリアのためのアップリンクキャリア情報を受信することと、

前記アップリンクキャリア情報に少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリアの構成を決定することと、

をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

前記UEは、前記アップリンクキャリアが、

前記ダウンリンクキャリアとは異なるサブキャリア間隔、または、

前記ダウンリンクキャリアとは異なるチャンネル帯域幅、

のうちの少なくとも1つに関連付けられることに少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリア情報を受信するように構成された、請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

前記キャリアのための同期信号ブロックは、前記物理チャンネルのための同期ラスタによって定義されるロケーション以外のロケーションにおいて受信される、請求項1に記載の方法。

【請求項 10】

前記初期絶対周波数を示すチャンネル番号を受信すること、または、

前記初期絶対周波数において同期チャンネルを検出すること、

のうちの1つに少なくとも部分的に基づいて、前記初期絶対周波数を識別すること、

をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項 11】

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)であって、

メモリと、

前記メモリに結合された1つまたは複数のプロセッサと、

を備え、前記メモリおよび前記1つまたは複数のプロセッサは、

キャリアのための初期絶対周波数、

前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、

前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、

基準周波数からの周波数オフセット、

のうちの少なくとも1つを識別するキャリア情報を受信することと、

前記キャリア情報と前記UEのサブキャリア間隔とのみを使用して、前記キャリアの構成を決定することと、ここにおいて、前記構成を決定することは、物理チャンネル、トーン境界オフセット、チャンネル開始、および/またはチャンネル終了を決定することを備える、
を行うように構成された、ユーザ機器(UE)。

【請求項 1 2】

基地局によって実施されるワイヤレス通信の方法であって、
ユーザ機器（UE）のサブキャリア間隔に少なくとも部分的に基づいて、前記UEのためのキャリアの構成を決定することと、
前記構成を識別するキャリア情報を送信することと、
を備え、前記キャリア情報は、
前記キャリアのための初期絶対周波数、
前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
基準周波数からの周波数オフセット、
のうちの少なくとも1つを含む、方法。

【請求項 1 3】

前記基準周波数は、前記キャリアのエッジから特定の距離を置いたところに位置し、前記特定の距離は、前記UEの最大のサポートされるチャネル帯域幅よりも広い、請求項1 2に記載の方法。

【請求項 1 4】

帯域幅部分の開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の終了リソースブロックのうちの少なくとも1つを識別する情報を送信すること、
をさらに備え、前記キャリア情報は、前記帯域幅部分のためのものである、請求項1 3に記載の方法。

【請求項 1 5】

ワイヤレス通信のための基地局であって、
メモリと、
前記メモリに結合された1つまたは複数のプロセッサと、
を備え、前記メモリおよび前記1つまたは複数のプロセッサは、
ユーザ機器（UE）のサブキャリア間隔に少なくとも部分的に基づいて、前記UEのためのキャリアの構成を決定することと、
前記構成を識別するキャリア情報を送信することと、
を行うように構成され、前記キャリア情報は、
前記キャリアのための初期絶対周波数、
前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
基準周波数からの周波数オフセット、
のうちの少なくとも1つを含む、基地局。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 0】

[0118]本明細書で使用されるいかなる要素、行為、または命令も、明示的にそのように説明されない限り、重要または必須と解釈されるべきではない。また、本明細書で 사용되는冠詞「a」および「an」は、1つまたは複数の項目を含むものであり、「1つまたは複数」と互換的に使用され得る。さらに、本明細書で 사용되는「セット」および「グループ」という用語は、1つまたは複数の項目（たとえば、関係する項目、無関係の項目、関係する項目と無関係の項目の組合せなど）を含むものであり、「1つまたは複数」と互換的に使用され得る。1つの項目のみが意図される場合、「1つ」という用語または同様の言い回しが使用される。また、本明細書で 사용되는「有する（has）」、「有する（have）」、「有する（having）」などの用語は、オープンエンド用語であるものとする。さらに、「に基づく」という句は、別段に明記されていない限り、「に少

なくとも部分的に基づく」を意味するものである。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[C 1]

ユーザ機器 (UE) によって実施されるワイヤレス通信の方法であって、
キャリアのための初期絶対周波数、
前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
基準周波数からの周波数オフセット、
のうちの少なくとも1つを識別するキャリア情報を受信することと、
前記キャリア情報と前記UEのサブキャリア間隔とに少なくとも部分的に基づいて、前記キャリアの構成を決定することと、
を備える、方法。

[C 2]

前記基準周波数は、前記キャリアのエッジから特定の距離を置いたところに位置し、前記特定の距離は、前記UEの最大のサポートされるチャネル帯域幅よりも広い、C 1に記載の方法。

[C 3]

前記基準周波数に少なくとも部分的に基づいて、
前記キャリアのための擬似雑音シーケンス、
前記キャリアのためのリソースブロックグループ、
前記キャリアのためのプリコードリソースブロックグラニュラリティ、または、
前記キャリアのためのサウンディング基準信号のロケーション、
のうちの少なくとも1つを決定すること、
をさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 4]

前記キャリア情報に少なくとも部分的に基づいて、および帯域幅部分の開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の終了リソースブロックのうちの少なくとも1つを識別する情報に少なくとも部分的に基づいて、前記帯域幅部分を決定すること、
をさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 5]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、物理チャネルに対して定義される、C 4に記載の方法。

[C 6]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、前記基準周波数に対して定義される、C 4に記載の方法。

[C 7]

前記キャリアはダウンリンクキャリアであり、前記キャリア情報はダウンリンクキャリア情報であり、
前記UEが周波数分割複信に関連付けられるとき、前記方法は、
アップリンクキャリアのためのアップリンクキャリア情報を受信することと、
前記アップリンクキャリア情報に少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリアの構成を決定することと、
をさらに備える、C 1に記載の方法。

[C 8]

前記UEは、前記アップリンクキャリアが、
前記ダウンリンクキャリアとは異なるサブキャリア間隔、または、
前記ダウンリンクキャリアとは異なるチャネル帯域幅、
のうちの少なくとも1つに関連付けられることに少なくとも部分的に基づいて、前記アップ

プリンクキャリア情報を受信するように構成された、C 7 に記載の方法。

[C 9]

前記キャリアのための同期信号ブロックは、前記物理チャネルのための同期ラスタによって定義されるロケーション以外のロケーションにおいて受信される、C 1 に記載の方法。

[C 1 0]

前記初期絶対周波数を示すチャネル番号を受信すること、または、
前記初期絶対周波数において同期チャネルを検出すること、
のうちの1つに少なくとも部分的に基づいて、前記初期絶対周波数を識別すること、
をさらに備える、C 1 に記載の方法。

[C 1 1]

ワイヤレス通信のためのユーザ機器 (UE) であって、
メモリと、
前記メモリに結合された1つまたは複数のプロセッサと、
を備え、前記メモリおよび前記1つまたは複数のプロセッサは、
キャリアのための初期絶対周波数、
前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
基準周波数からの周波数オフセット、
のうちの少なくとも1つを識別するキャリア情報を受信することと、
前記キャリア情報と前記UEのサブキャリア間隔とに少なくとも部分的に基づいて、前
記キャリアの構成を決定することと、
を行うように構成された、ユーザ機器 (UE) 。

[C 1 2]

前記基準周波数は、前記キャリアのエッジから特定の距離を置いたところに位置し、前
記特定の距離は、前記UEの最大のサポートされるチャネル帯域幅よりも広い、C 1 1 に
記載のUE 。

[C 1 3]

前記1つまたは複数のプロセッサは、
前記基準周波数に少なくとも部分的に基づいて、
前記キャリアのための擬似雑音シーケンス、
前記キャリアのためのリソースブロックグループ、
前記キャリアのためのプリコードリソースブロックグラニュラリティ、または、
前記キャリアのためのサウンディング基準信号のロケーション、
のうちの少なくとも1つを決定する、
ようにさらに構成された、C 1 1 に記載のUE 。

[C 1 4]

前記1つまたは複数のプロセッサは、
前記キャリア情報に少なくとも部分的に基づいて、および帯域幅部分の開始リソースブ
ロックまたは前記帯域幅部分の終了リソースブロックのうちの少なくとも1つを識別する
情報に少なくとも部分的に基づいて、前記帯域幅部分を決定する、
ようにさらに構成された、C 1 1 に記載のUE 。

[C 1 5]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソース
ブロックのうちの少なくとも1つは、物理チャネルに対して定義される、C 1 4 に記載の
UE 。

[C 1 6]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソース
ブロックのうちの少なくとも1つは、前記基準周波数に対して定義される、C 1 4 に記載
のUE 。

[C 1 7]

前記キャリアはダウンリンクキャリアであり、前記キャリア情報はダウンリンクキャリア情報であり、

前記UEが周波数分割複信に関連付けられるとき、前記1つまたは複数のプロセッサは、

アップリンクキャリアのためのアップリンクキャリア情報を受信することと、
前記アップリンクキャリア情報に少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリアの構成を決定することと、
を行うようにさらに構成された、C 1 1に記載のUE。

[C 1 8]

前記UEは、前記アップリンクキャリアが、
前記ダウンリンクキャリアとは異なるサブキャリア間隔、または、
前記ダウンリンクキャリアとは異なるチャネル帯域幅、
のうちの少なくとも1つに関連付けられることに少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリア情報を受信するように構成された、C 1 7に記載のUE。

[C 1 9]

前記キャリアのための同期信号ブロックは、前記物理チャネルのための同期ラスタによって定義されるロケーション以外のロケーションにおいて受信される、C 1 1に記載のUE。

[C 2 0]

前記1つまたは複数のプロセッサは、
前記初期絶対周波数を示すチャネル番号を受信すること、または、
前記初期絶対周波数において同期チャネルを検出すること、
のうちの1つに少なくとも部分的に基づいて、前記初期絶対周波数を識別する、C 1 1に記載のUE。

[C 2 1]

基地局によって実施されるワイヤレス通信の方法であって、
ユーザ機器(UE)のサブキャリア間隔に少なくとも部分的に基づいて、前記UEのためのキャリアの構成を決定することと、
前記構成を識別するキャリア情報を送信することと、
を備え、前記キャリア情報は、
前記キャリアのための初期絶対周波数、
前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
基準周波数からの周波数オフセット、
のうちの少なくとも1つを含む、方法。

[C 2 2]

前記基準周波数は、前記キャリアのエッジから特定の距離を置いたところに位置し、前記特定の距離は、前記UEの最大のサポートされるチャネル帯域幅よりも広い、C 2 1に記載の方法。

[C 2 3]

帯域幅部分の開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の終了リソースブロックのうちの少なくとも1つを識別する情報を送信すること、
をさらに備え、前記キャリア情報は、前記帯域幅部分のためのものである、C 2 1に記載の方法。

[C 2 4]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、物理チャネルに対して定義される、C 2 3に記載の方法。

[C 2 5]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、前記基準周波数に対して定義される、C 2 3に記載の方法。

[C 2 6]

前記キャリアはダウンリンクキャリアであり、前記キャリア情報はダウンリンクキャリア情報であり、

前記UEが周波数分割複信に関連付けられるとき、前記方法は、
アップリンクキャリアのためのアップリンクキャリア情報を送信すること、
をさらに備える、C 2 3に記載の方法。

[C 2 7]

前記基地局は、前記アップリンクキャリアが、
前記ダウンリンクキャリアとは異なるサブキャリア間隔、または、
前記ダウンリンクキャリアとは異なるチャネル帯域幅、
のうちの少なくとも1つに関連付けられることに少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリア情報を送信するように構成された、C 2 6に記載の方法。

[C 2 8]

前記キャリアのための同期信号ブロックは、前記物理チャネルのための同期ラスタによって定義されるロケーション以外のロケーションにおいて受信される、C 2 1に記載の方法。

[C 2 9]

前記初期絶対周波数は、
前記初期絶対周波数を示すチャネル番号、または、
前記初期絶対周波数における同期チャネル、
のうちの1つに少なくとも部分的に基づいて識別される、C 2 1に記載の方法。

[C 3 0]

ワイヤレス通信のための基地局であって、
メモリと、
前記メモリに結合された1つまたは複数のプロセッサと、
を備え、前記メモリおよび前記1つまたは複数のプロセッサは、
ユーザ機器(UE)のサブキャリア間隔に少なくとも部分的に基づいて、前記UEのためのキャリアの構成を決定することと、
前記構成を識別するキャリア情報を送信することと、
を行うように構成され、前記キャリア情報は、
前記キャリアのための初期絶対周波数、
前記キャリアのためのトーン境界オフセット値、
前記キャリア中に含まれるリソースブロックの数、または、
基準周波数からの周波数オフセット、
のうちの少なくとも1つを含む、基地局。

[C 3 1]

前記基準周波数は、前記キャリアのエッジから特定の距離を置いたところに位置し、前記特定の距離は、前記UEの最大のサポートされるチャネル帯域幅よりも広い、C 3 0に記載の基地局。

[C 3 2]

前記1つまたは複数のプロセッサは、
帯域幅部分の開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の終了リソースブロックのうちの少なくとも1つを識別する情報を送信する、
ようにさらに構成され、前記キャリア情報は、前記帯域幅部分のためのものである、C 3 0に記載の基地局。

[C 3 3]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソース

ブロックのうちの少なくとも1つは、物理チャネルに対して定義される、C 3 2に記載の基地局。

[C 3 4]

前記帯域幅部分の前記開始リソースブロックまたは前記帯域幅部分の前記終了リソースブロックのうちの少なくとも1つは、前記基準周波数に対して定義される、C 3 2に記載の基地局。

[C 3 5]

前記キャリアはダウンリンクキャリアであり、前記キャリア情報はダウンリンクキャリア情報であり、

前記UEが周波数分割複信に関連付けられるとき、前記1つまたは複数のプロセッサは、

アップリンクキャリアのためのアップリンクキャリア情報を送信する、
ようにさらに構成された、C 3 2に記載の基地局。

[C 3 6]

前記基地局は、前記アップリンクキャリアが、

前記ダウンリンクキャリアとは異なるサブキャリア間隔、または、

前記ダウンリンクキャリアとは異なるチャネル帯域幅、

のうちの少なくとも1つに関連付けられることに少なくとも部分的に基づいて、前記アップリンクキャリア情報を送信するように構成された、C 3 5に記載の基地局。

[C 3 7]

前記キャリアのための同期信号ブロックは、前記物理チャネルのための同期ラスタによって定義されるロケーション以外のロケーションにおいて受信される、C 3 0に記載の基地局。

[C 3 8]

前記初期絶対周波数は、

前記初期絶対周波数を示すチャネル番号、または

前記初期絶対周波数における同期チャネル、

のうちの1つに少なくとも部分的に基づいて識別される、C 3 0に記載の基地局。